

天塩川との関わり・・・意見書・・・「自然保護と開発について」

こんな大それたテーマ、いまさら私ごときが目新しい意見など持ち合わせませんが、一昨年の発表会以来ちょっと考えることがありましたので、再度書かせていただきます。

あのときも同じテーマで、私の仕事柄、観光利用について語らせていただきました。そのときの他の方々のご意見を拝聴し、あー、こんな考えもあるんだ、と勉強させていただきました。色々疑問に思ったことなどもありましたが、いまの時代、ネットという大変便利なものがあり、手軽に調べることができます。これもまた楽しみです。

ちょっと古いけど面白いですよ。→<http://www.ne.jp/asahi/ecodb/yasui/index.html>

ここにあらためてダム必要性について私見を述べさせていただきます。

さて、私、若い頃ヤマベ釣りが好きで町内の沢にはほとんど行ったものです。釣果もさることながら、自然と溶け合い、湧き水を飲み、熊に怯え、日が傾きかけるまで楽しんで家族に心配かけたものです。

いつ頃からか、釣果がぱったりと落ち込みました。原因ははっきりしてます。釣り人の増加です。

毎日入れ替わり立ち替わりヤマベを釣りに都会からくる人たち。せっかくの休日なんだから溪流釣りを満喫したい。その気持ちよ〜わかります。だからしつこく粘って、根こそぎ、一匹残らず、釣り上げて、持って帰って天ぷらにしておいしくいただく。

おかげでこの辺の川には夏を過ぎるとヤマベはいなくなってる、ような気がします。

釣り人の方々はキャッチアンドリリースといいますが、ヤマベの新子なんかキャッチアンドリリースする人なんていませんよね。どうせ翌年は繁殖するし、ヤマベなどいなくても生態系に悪影響はたいしてないと思ってるんでしょうか。おまけに針つきのテグスは放置するし。

最近ある雑誌に、1mクラスのイトウをかかえて得意満面の笑みを浮かべて記念写真をとる姿が載ってました。水中生物を針で引っ掛けて空中に引き上げて、イトウにとっては命に関わるすごいストレスだと思うけど。

これはスポーツで、たとえ天然記念物に近いものあっても魚類は保護対象になってないからいいんですよ。イジメのはじまりです。しかも、密漁の監視もしてるとか。ということは、釣り人の中には密猟者もいるのかな？

もっとわからないのがサクラマス産卵場所。数える人によって数が大きくちがってるけど何かはっきり違いがあるんでしょうか。

産卵シーンを目撃して数えたんでしょうか。川底なんて毎年状況が変わることもありませんか。どうしても上流で産卵させたいなら、許可をもらってダムのすそにたまってるやつを捕まえてバケツでダム湖に運べばどうですか。ほとんどボランティアで簡単な話だと思うけど。コストのかかる魚道なんてつくらなくていいです。

地図で見れば、名寄川の本流はとても奥が深く、支流もたくさんあり流域面積も広いです。そちらの方で産卵するだけでも十分だと思います。都会人のストレス解消のため我が田舎はあるのではない。

ヤマベは北海道では全面禁漁か有料許可制にすべきだと思います。

そうすれば陸封ヤマベが自然繁殖してダムの上流でも豊かな生態系が保持できると思います。

さかな釣りは海でどうぞ。

もうひとつわからないのが漁業の影響ですが、天塩川の支流の名寄川のそのまた支流のサンル川にダムをつくってはるか下流の海の漁業にどれほど悪影響があるのかよくわかりません。一時的に堰きとめても流れる量は同じですよ。水質が悪化するとも思えないし。それよりもっと悪影響が中流域以下でありそうな気がしますけど、そっちはほっといていいのかな？

岩尾内、風連などのダムの影響はどうだったのでしょうか。雨竜ダムは石狩川河口の漁業にどんな影響を与えたのでしょうか。(過去のデータはどうだったのか)

最近マスコミでは地球温暖化のことがよく報じられています。2回の講演会でも今後の異常気象を強く警告していました。子や孫は気の毒だな、と不安を覚えます。

ダムの効能に色々ありますが、洪水対策は一朝にはできません。百年の計が必要です。軍備と似ています。

それよりも私が川に期待したいのは水力発電です。資源小国なんですからあらためてもっと水力の利用を図らなければ、いずれウランも石油も高騰するのはわかっているはずなのに。

いま500万kwの設備で使ってるのが300万kw。200万kwの過剰な設備をかかえて、さらに泊3号で100万kwもふやすなんて。

電気の生産地と消費地が離れすぎていて送電ロスがあっても多すぎませんか？

いま水力は90万kwだからあと100万kw位の水力発電所をぼちぼち作っていけばどうでしょうか。50年後は水力200万kw、石炭100万kw、石油火発少々。こんなもんでどうでしょう。どうせこれから人口は減少するし、脱原発脱石油のほうが禍根を残さないと思います。

高レベル廃棄物はその毒性が半減するだけでも凡そ数万年(?)かかるようです。水力発電の場合は、廃棄物も“水”のままです。おそらく、どこかのテロリスト達に狙われることはありません。

ちょっと残念なことに、ダムは見かけによらず発電パワーが物足りません。

これだけ大騒ぎして、サンル発電所はたったの1300kw、我が仁宇布発電所の半分以下ですか？

あの忠別ダムでさえやっと1万kw。もうちょっとなんとかならないでしょうか。

パワー不足なら数で補うしかない。この川は人間のための川、として段々にダムをつくれればいい。それでも前述のように生態系は保持できると思います。

風力もソーラーもまだあてにはならないし。

自然保護は大切なことには違いありません。

しかし、人工物を作ることが全ての破壊に繋がるのでしょうか？各家庭の庭や盆栽等も剪定します。芝も刈ります。全く手をつけなければ自然は残りますが、荒れ放題にもなります。

哺乳類も鳥類も魚類も植物も利用すべきものと残すべき自然と、はっきり区分して子や孫のためにランニングコストのかからないように何が必要か、見直すべきだと思います。